

公表日: 令和6年4月1日

|          |   | チェック項目  | はい | いいえ                             | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|----------|---|---|----|---------------------------------|---|
| 環境・体制整備  | 1   | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | ○  |                                 | 子供一人当たり、十分な床面積を確保し静養や個別療育のためのスペースを設けています                                    |
|          | 2   | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |                                 | 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などセラピスト、児童指導員、保育士を常時配置しています                                |
|          | 3   | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | ○  |                                 | 構造化は敢えてしていませんが、児童の注意が散りにくい環境を提供しています。スロープ設置、車いす用トイレ、段差のないフロア等の環設備を完備しています   |
|          | 4   | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | ○  |                                 | 定期的な清掃、消毒を行っています。また適宜、空気の入替えなどに留意し、常に清潔を保持し快適な空間を提供出来るよう努めています              |
| 業務改善     | 5   | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか  | ○  |                                 | 定期的な話し合いを行い、業務改善に努めています   |
|          | 6   | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | ○  |                                 | 定期的にアンケート調査を実施し、また送迎時や電話等による保護者からの意向や情報を評価し職員間で共有しています                      |
|          | 7   | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | ○  |                                 | 毎年、4月に更新していきます  |
|          | 8   | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   |    | ○                               | 現時点での外部評価は、考えておりません。  |
|          | 9   | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○  |                                 | 職員の研鑽に資する研修会、勉強会などへの積極的な参加機会を提供し、また実施しています                                  |
| 適切な支援の提供 | 10  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |                                 | 主に保護者からの情報を基に職員間でアセスメントを行い、個別・集団における課題を分析した上で支援計画を作成、立案している                 |
|          | 11  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |                                 | 日々の療育の場と保護者からの情報をベースに発達や行動などを評価し、適宜プログラムの確認や修正を行っている。また連絡帳に成長過程や状況等を記載しています |
|          | 12  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○  |                                 | ガイドライン内容を周知し、その都度内容を確認した上で、支援内容の設定を行っています                                   |
|          | 13  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |                                 | 職員間で支援計画を共有し、それに沿って支援を進めています  |
|          | 14  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○  |                                 | 職員間で話し合い、プログラムの立案を行っています  |
|          | 15  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | ○  |                                 | プログラムは適宜、職員間で検証し、修正・変更しています   |
| 16       | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | ○   |    | 計画立案から個別、集団療育の整合性を持たせ作成にあたっています |   |

|              | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など                       |
|--------------|--|----|-----|---|
|              | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか   | ○  |     | 支援開始前に近況を情報共有し、役割分担しています                  |
|              | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか  | ○  |     | 支援内容の確認を行い、職員間で情報共有しています                  |
|              | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○  |     | 日々、支援記録(連絡帳)の見返しをし内容の検証や改善の参考にしている        |
|              | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○  |     | 6ヶ月に1回、個別支援計画書の作成を行っています                  |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | ○  |     | 児発管、もしくは子供の状況を良く把握しているスタッフが参画している         |
|              | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | ○  |     | コロナ禍でもある為、積極的な交流は控えています                   |
|              | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                          | ○  |     | 情報の共有を行っております                             |
|              | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                      | ○  |     | 保護者を通じて、情報の共有を行っており、緊急時のマニュアルを作成しております。   |
|              | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | ○  |     | 必要に応じて、関係者会議を行っています                       |
|              | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | ○  |     | 必要に応じて、関係者会議を行っています                       |
|              | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか   | ○  |     | 関係者会議等において必要に応じた他事業所との連携、見学の受け入れ等を行っています  |
|              | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |    | ○   | 保育所や幼稚園へ通われているお子様は、活動する機会があると考えられます。      |
|              | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  |    | ○   |   |
|              | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | ○  |     | 常に連絡帳や送迎時などのやり取りを行っています                   |
|              | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか   | ○  |     | 保護者からの希望があれば、随時必要な助言をしています                |
|              | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○  |     | 契約時に保護者の方々には、説明をさせて頂いています                 |
|              | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○  |     | ガイドライン内容を周知し、その都度内容を確認した上で、支援内容の設定を行っています |

|            |    | チェック項目  | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など  |
|------------|----|---|----|-----|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○  |     | 当事業所から定期的な面談の場を設けております。  |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                               |    | ○   | 保護者同士の連携については、当事業所が主導してこれを推奨あるいは強制する性質のものではないと考えられ、現在、特定の連携形態は存在しません |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○  |     | 相談があった場合は、随時対応しております   |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                           | ○  |     | 法人ホームページの更新を行っていきます  |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○  |     | 職員への注意喚起と重要書類等は施錠機能のあるロッカーでの保管・管理を行っている                              |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○  |     | それぞれの児童の特性に配慮し、情報伝達を行っています   |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |    | ○   |  |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        | ○  |     | 各マニュアルの作成をして、職員に共有していますが、今後保護者の方への周知も行っていく予定です                       |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○  |     | 定期的に避難経路の確認を行っています   |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○  |     | 契約時に必ず情報を聞き取り、周知徹底しています  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | ○  |     | 医師との連携については機会が限られますが、対応は周知徹底しています                                    |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○  |     | 随時、事例を報告・文書化し、常時、職員が閲覧出来るようにしています                                    |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○  |     | マニュアルの作成、周知を行っています   |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか |    | ○   | 現在、対象の児童がいないため、記載はしていませんが、そのような事例については、計画書等に了承を得た上で、記載していきます         |

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。